

この食品、どこからきてるかな？

スーパーマーケットには、世界各地からの食品が集まってきています。ノルウェー産ししゃも、モーリタニア産タコ、スイス産チーズ、チリ産ワインなどなど。新潟にいながら、世界のおいしいものが食べられるのですから、便利な時代になりました。ただし、それらの食品を新潟まで輸送してくるために、たくさんのエネルギー（飛行機や船、トラックの輸送に必要なガソリン、軽油など）が使われています。

食べ物の輸送距離を表す言葉として、「フードマイレージ」があります。「フードマイレージ」がもっとも低いのは、家庭菜園。続いては地元新潟の食材です。たまには「フードマイレージ」を気にしながら、地元の食材で、食卓を飾ってみてはいかがでしょうか？

「Eco列車でいこう！」～第99回～ 「ぶらり山形路」

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！) 

「また、どこかにいきたいなあ」と思った。JRの指定席購入サイト「えきねっと」を見てみると、土曜日の「きらきらうえつ」の指定席(しかも海側)が空いていた。「酒田～新潟」の指定席を予約した。

8月12日。どこで何をするのは決めないまま、4:56新潟発村上行の快速に乗った。今にも降り出しそうな曇天の空。好天は期待できない。さてどこに行こうか。

「村上」から酒田行に乗り換える。2両編成の気動車は笹川流れから庄内平野に入ってきた。まもなく「鶴岡」だ。バスに乗り換えて、月山8合目まで行くことができる。しかし、あいにくの雨なので鶴岡では降らない。

この列車の終点「酒田」に行って、みなと市場で海鮮丼を食べるか、はたまた先を急いで、芭蕉ゆかりの地「象潟」に向かうか。いろいろ選択肢があって楽しい。

結局「余目」で降りて、陸羽西線新庄行きに乗り換えた。最上川を見ながら、「新庄」着。観光案内所で情報収集をする。陸羽東線で乗り換えて、「瀬見温泉」「赤倉温泉」も魅力的だが、山形名物の「肉そば」も食べたい。食欲が勝って、温泉はあきらめた。

山形行きに乗って、「大石田」で下車。大石田は「おしん」で有名になった「銀山温泉」の下車駅だ。が、銀山温泉は山の中。バスで50分以上かかるので断念。

駅前の「地域おこし協力隊」ががんばっている、オープンしたての観光案内所で、「そばコーヒー」をごちそうになる。「ずんだだんご」の有名店をおすすめされたが、大行列のため、泣く泣く食べずに駅へ戻った。

ふたたび乗り換えて「さくらんぼ東根」着。名前のとおりさくらんぼの一大産地だ。ここで念願の「肉そば」を食べる。

太目の田舎そばの上にコリコリした歯ごたえのある鶏肉が乗っており、鶏出汁の冷たいスープがかかっている。鶏から出た油が食欲を誘う。付け合わせは「げそ天」が定番らしいので、追加で注文。瓶ビールとゲソ天で一杯やったあとで、そばを食べて大満足だ。ついでに駅の喫茶店で「さくらんぼソフトクリーム」も食べた。

再び新庄、余目を経由して、鶴岡へ。「きらきらうえつ」乗車までに2時間を、鶴岡散策に充てようと思ったが、雨の降りが激しくなった。小雨になったのを見計らって、昭和初期の工場をリノベーションした映画館や、古い町並みを歩いて回った。

鶴岡駅前のビルはリニューアルして、おしゃれな飲食店やお土産ショップが軒を連ねていた。

「だだ茶豆」を試食したが、「黒崎茶豆」の方がおいしいなあ。と思った(笑)



【8月12日(土)】

新	潟	4:56
村	上	5:52
		5:58
余	目	7:58
		8:01
新	庄	8:53
		9:32
大	石	9:52
	田	10:29
	さくらんぼ東根	10:51
		12:00
新	庄	12:52
		13:12
余	目	13:58
		14:03
鶴	岡	14:20
		16:34
新	潟	18:32